

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」栗林南校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		
	②	職員の配置数は適切であるか	2	2		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			4	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	3		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3		1	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		3	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	1	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	2	1	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	2	1	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	1	2	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2		2	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1			
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	1	2		

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		定期的にケース会議を開催し、支援の方向性を再検討している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	1	2	1	活動が単一の内容になっている事がある
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	3	1		必ずしも適切な意見を言える職員が参加しているとは限らない。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	1	1	利用者様の学校との情報共有が充分にできていないときがある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	2	今のところ、医療的ケア児の受入れは実施していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	1	今年度、就学前の施設とは連携できていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	職員によっては情報提供できていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	職員によっては連携ができていない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	今のところ、地域の健常児と関わる機会はない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	2	参加できていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	2		保護者様と話す際、家での様子もなるべく伺うようにしているが、全職員が共通理解ができているわけではない。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	職員によってはペアレント・トレーニング支援のスキルが備わっていない。
保護者への説明責	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3		1	職員によっては、説明に不十分さが見られる。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	2	1	職員によっては保護者様との共有に自信がない。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	1	保護者様同士の連携の催しは今年度実施していない（1月実施予定）。

任 等						
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	2		職員によっては、校舎内の情報提供の場での苦情に合致した対応ができていないか自信がない。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			毎月発行のおたよりにて、研修等の内容について周知している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	3	1		他所で利用者様の名前や学年等は出さないようにしている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	1	1	状況に応じて、時間をかける・筆談するなどをしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	年明けに実施予定。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			定期的に避難経路の確認等をしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		ヘルメットを常備するなどし、定期的に訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			定期的に虐待防止ケース会議を開いている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			利用者様に周知するマニュアルに記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		2	2	粘土は小麦でなく米粉のものにしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		1	事例集での検討はあまりない。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」栗林南校

保護者等数（児童数）：55(61)回収数： 39 割合：70.9%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	6		運動系の支援(ボール遊びなど)を行うにはスペース、パーティションともに心もとない →活動を見直し、安全を第一に取り組んでいきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	29	15	3	職員さんは少ない方だと思います。 数年同じ曜日、同じ時間帯を利用させていただいていますが、毎月、その時間帯から変更してほしいと言われる。上限日数を使いきれない月が続いている。 →多くの利用者に満足いくご提案ができるよう努めます。 専門性？ →支援者として認めていただけるよう、一層の精進をしていきます。 日による →どの日も安定した支援が提供できるよう努めます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	13	8	入り口のドアと、トイレの扉が危なっかしい →ご指摘ありがとうございます。見直しをしております。また、危険を感じた際には、職員へお伝えいただきますようお願いいたします。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	33	4	2	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	31	7	1	こちらの知識不足で答えられない →お子さんの中に答えがありますので、一緒に探させてください。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	16	11	
保護者への説	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38	0	1	簡単な説明で終わることがある。 どのような効果を狙って取り組んだとか、子供の良い部分など、保護者が気がつかないようなところも伝えてほしい。 →ありがとうございます。職員との話に意義を感じてくださいますと、感謝申し上げます。説明の不十分さ

明 等					がありましたようで、申し訳ございません。支援内容やお子様の成長などをより共有していきます。	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36	2	3	WISCの結果をお渡ししても、それに対してどのようなことをやっていけば良いか、支援の内容を変更した方が良いのか提案等、何のリアクションもなかったのが残念です。 →検査結果についての私見を述べることは場合によっては慎まなければならないこともあります。検査結果については医療機関などにご相談をいただきたいと思います。支援内容の変更は検査結果によらずとも、ご要望に従って計画してまいります。ただ、それとは別に、求められている対応ができませんでしたことにはお詫び申し上げます。せっかくのお子さんの情報をいただいたにも関わらずその機会を逃してしまいましたことは、事業所として反省すべき点として受け止めます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	3	2	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	24	10	5	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	8	1	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	2	1	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	35	4	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	33	3	0	
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25	12	2	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	21	4	訓練が行われているかどうかは知らない →毎月防災訓練を行っております。 詳しくは玄関横にある訓練計画をご覧ください。
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	30	7	0	

満足度					
	⑱	事業所の支援に満足しているか	28	6	4

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。